三重県医療ソーシャルワーカー協会

協会ニュース

2018.7 vol.61

編集・発行 三重県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページ http://www.mie-msw.com/
事務局 小山田記念温泉病院
〒512-1111 四日市市山田町5538-1
☎059(328)1260

目次

◇平成30年度 三重県医療ソーシャルワーカー協会総会・記念講演報告
◇研修報告
◇新人紹介
◇施設紹介
◇次回研修案内
◇編集後記

平成30年度 三重県医療ソーシャルワーカー協会 総会・記念講演 報告

日時：平成30年5月19日（土）
場所：三重県総合文化センター 視聴覚室

〈総会〉

出席者84名、委任状54名（計138名/会員176名）で会員の過半数を超えているため会則第20条によって総会は成立。

第1号議案…平成29年度事業報告及び収支決算報告→可決
第2号議案…平成30年度事業計画案及び予算案報告→可決
第3号議案…会則改正（監事の任務について）→可決
第4号議案…役員改選→可決
その他…会則第16条により前副会長の伊藤隆博氏に相談役を委嘱

役職	氏名	所属機関	担当
会長	山田　剛	介護老人保健施設　みえ川村老健	研修
副会長	鈴木　志保子	三重大学医学部附属病院	研修
副会長	高村　純子	国立病院機構　三重病院	研修
理事	落合　幸太朗	藤田保健衛生大学　七栗記念病院	研修
理事	川口　恵生	小山田記念温泉病院	事務局
理事	久保　信裕	鈴鹿回生病院	研修
理事	小坂　絵里加	三重大学医学部附属病院	広報
理事	田邊　有紀	名張市立病院	研修
理事	西井　舞	伊勢赤十字病院	研修
理事	兵倉　香織	市立四日市病院	広報
理事	松田　美穂	岡波総合病院	広報
理事	脇海道　友美	伊勢赤十字老人保健施設　虹の苑	研修
監事	森川　幸雄	三重県医療ソーシャルワーカー協会元副会長	
監事	吉川　晴子	市立四日市病院	
相談役	伊藤　隆博	岩手県立大学社会福祉学部	

〈記念講演〉

「医療ソーシャルワーカーとして大切にしたいもの
～今までのあゆみと展望～」

講師：市立四日市病院　医療ソーシャルワーカー
元三重県医療ソーシャルワーカー協会副会長　吉川晴子氏

大学卒業後すぐに、市立四日市病院に医療ソーシャルワーカーとして入職し、長年にわたる市立四日市病院での取り組み、また三重県医療ソーシャルワーカー協会での取り組みについて具体的なお話しを聴かせていただきました。ソーシャルワーカーとして、退院支援加算を算定するための仕事ではなく、患者・家族に寄り添い、ミクロの視点から、地域・社会にフィードバックできるよう、メゾ、マクロへと活動をひろげていく大切さを学びました。今後、ソーシャルワークの価値を実践できるソーシャルワーカーを育成していくのは、現任のソーシャルワーカー、また職能団体であり、〝これからの歴史を作るのは、あなた方です〟と激励のお言葉もいただきました。

▲記念講演の様子

▲講師吉川氏

〈研修報告〉

1. 初任者養成研修④「チーム医療と地域実践」「事例検討の方法と実践の検証①」

講師：介護老人保健施設みえ川村老健　山田剛氏
岡波総合病院　松田美穂氏
日時・場所：1月21日（日）　アスト津会議室1
参加者：15名
目的：① 連携の定義と意義が明確になり、実践上の連携の目的がSWの価値から説明できる。
②チーム・組織・地域に対するSWアセスメントを意識化し、そこにSWが連携するという形で計画的に介入する必要性を説明できるようになる。
③専門性向上のための手段として実践事例を検討する事が有効であることを理解する。
④事例検討の意義・方法について理解する。

▲▼研修の様子

2. 初任者養成研修⑤「事例検討の方法と実践の検証②」

講師：介護老人保健施設みえ川村老健　山田剛氏
日時・場所：2月23日（金）　アスト津会議室1
参加者：16名
目的：実際の事例検討でその意義・方法を理解する。

3. 平成30年度診療報酬･介護報酬改定説明会（三重県介護支援専門員協会との共催）

日時:3月25日(日)
参加者:80名(うち非会員14名)
『第１部』
場所:三重県人権センター
内容:「医療介護同時改訂のポイントを読み解く
～地域包括ケアシステム･病院機能再編･地域医療構想を中心に～」
講師:三重県健康福祉部長寿介護課課長(医師)島田晃秀氏

◀第１部の様子

『第２部』
場所:国立病院機構三重病院
内容:「平成３０年診療報酬改定の解説」
講師:株式会社スズケン お客様サポート部 コンサルティング課　清水達郎氏
参加者の声:
･診療報酬の背景や仕組みが理解でき、ケアマネ業務として幅を広げ
意識して活かせるような感を受けた。
･他院や介護事業者との連携のポイントが見えてとても良かった。
･連携の面やリハビリのアウトカムが具体的になってきたと感じる。
業務上連携することは多いが、報酬の事も意識しながら取り組みたい。

第２部の▶様子

昨年度も会員、非会員問わずたくさんの方々に参加していただきました！
実践に役立つ研修を今年度も順次予定しています。ぜひこの機会にたくさんの方の参加をお待ちしています。
一緒にスキルアップを目指しましょう！！

〈研究事業〉

平成29年度実践報告会

日時･場所:2月4日　松阪市産業振興センター２階･人材育成講座室
参加者:48名
Ⅰ 基調講演　『トップダウン「地域福祉」=我が事･丸ごと地域共生社会
-ＭＳＷに求められる新たな機能と役割-』
講師:皇学館大学 現代日本社会学部 教授　山路克文氏

基調講演▶山路先生

Ⅱ 実践報告会
コメンテーター:皇学館大学 現代日本社会学部 教授　山路克文氏
座長:鈴鹿中央総合病院　藪下茂樹氏
①伊勢赤十字病院　橋本康平氏
『地域における介護支援専門員との連携の強化及び質向上を目指して』
②主体会病院　鈴木愛美氏
『実習指導に参加する事で変化した１年目ＭＳＷのソーシャルワーク実践』
③三重大学医学部附属病院　濱岡和弥氏
『認知機能低下を伴う多系統委縮症患者の意思決定支援』
④市立四日市病院　岡香織氏
『市立四日市病院における「北伊勢地区要支援児童に関する情報交換会」について』
⑤小山田記念温泉病院　山浦康孝氏
『病状に翻弄されながら自分たちらしく生活することを自己決定した患者･家族への支援』

◀座長薮下氏とコメンテーター山路先生

▲実践報告会 演者濱岡氏

参加者の声:
＜基調講演＞
･医療･福祉のこれまでの経過と共に、時代や政策の流れに対応した実践を
行っていく必要性を改めて考えることができた。
･ベッドの削減が求められる中、地域へ繋げるSWの力が必要となってくるため、
もっと地域へ出て、もっと地域を知る必要があると思った。
＜実践報告会＞
･新人さんがスーパービジョンを受け、しっかり頑張っている現状を知ることができた。
自分も勤続年数も長くなってきたため育成に向けて学んでいきたいと感じた。
･1年目からベテランの方まで様々な方の話が聞けて、自分に落とし込んで考えることができた。
･とても自分への刺激になった。初任者の発表は応援したくなるし、こちらも頑張らなくてはと
パワーをもらい、15年以上経験者の発表を聞き、「このようなMSWになろう」と目標になります。
･病院組織人として求められるものとソーシャルワークを実践する専門職としてのジレンマが
ある中で、改めて何をすべきかを感じる機会となった。

▲実践報告会の様子

新加入会員紹介

今年もたくさんの方が新入会されました。皆さま、どうぞよろしくお願いします。

大門病院　板谷（いたや） 由佳里（ゆかり）

これまで高齢者福祉施設に勤めておりましたが、2月より大門病院に入職いたしました。まだまだ分からないことが多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

鈴鹿回生病院　日浅（ひあさ） 葵（あおい）

4月から社会人になりました。今までとは違う新しい環境に戸惑う事もありますが、恵まれた環境で学びある毎日を過ごさせて頂いています。早く上司の方々のように頼れる存在となれるよう精進していきたいです。ご迷惑お掛けすることも多々ありますが、よろしくお願い致します。

鈴鹿回生病院　冨山（とみやま） 恵資（けいすけ）

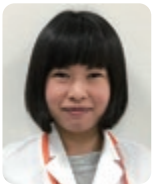
4月から鈴鹿回生病院に入職しました冨山です。以前は知的障害者支援施設で働いていました。医療ソーシャルワーカーとして働くのは初めてで分からないことばかりですが、協会で開催していただく研修会に積極的に参加し、学びを深めたいと思います。よろしくお願い致します。

医療法人 寺田病院　勝又（かつまた） 広志（ひろし）

4月からソーシャルワーカーとして入職いたしました。年齢はそこそこですがまだまだ新人です。温かく見守ってください。皆様にご迷惑を多々おかけすると思いますが精一杯がんばりますのでご指導の程、どうぞ宜しくお願いします。

三重大学医学部附属病院　横井（よこい） 結奈（ゆいな）

4月から新卒で入職しました。MSWになることは6年間抱いてきた夢でもあります。日々の経験の中で学び、成長していきたいと思いますので、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



三重大学医学部附属病院　伊藤（いとう） 法子（のりこ）

4月よりMSWとして入職いたしました。未だわからないことばかりですが、まずは、一人ひとりの患者様に少しでも安心していただける関わりができるようにがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

三重大学医学部附属病院　木佐貫（きさぬき） 惇夫（あつお）

昨年度の2月に入職しました。これまで愛知県の高齢者施設にて介護職員をしておりました。MSWとしての経験は無く、各関係機関の皆様にはご迷惑をおかけしたことが多々あったことと思います。今後とも宜しくお願いします。

佐藤病院 長島中央病院　水野（みずの） 智史（さとし）

医療介護の業界に入りあっという間に5年の月日が経ちました。この度当院では新人MSWを採用し、自分自身もフレッシュな気持ちを忘れまいと慌てて入会しました。ご指導よろしくお願い申し上げます。

介護老人保健施設 みずほの里　中北（なかきた） 香織（かおり）

老健の支援相談員5年目です。それまでは看護師の経験のみで社会福祉の知識に乏しい為、協会に加入させて頂き今後勉強させていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

岡波総合病院　家崎（いえざき） 貴弘（たかひろ）

初めまして、6/1より岡波総合病院に採用、医療福祉相談室に配属されました。家崎貴弘です。これから日々精進して、MSWとして患者様に支援できるよう努めていきます。

三重大学病院医学部付属病院　駒田（こまだ） 健人（けんと）

4月から新卒で入職しました。学生時代の学びや実習で得た日々の体験や出会いがあったからこそ今の自分があるのだと思っています。出会いを大切に、初心を忘れず、日々精進していきます。ご迷惑をかけることも多々あると思いますが、よろしくお願い致します。

松阪中央総合病院　鈴木（すずき） 栞（しおり）

4月から新卒で入職しました。患者さま、ご家族に寄り添うことのできるMSWになりたいと思っています。よろしくお願いいたします。

施設紹介《三重県身体障害者総合福祉センター》

第5回目は、三重県身体障害者総合福祉センターからの報告です。

◆施設紹介

〈障害者支援施設 三重県身体障害者総合福祉センター〉

当センターは障害者総合支援法に基づく障害者支援施設です。肢体等に障害のある方や高次脳機能障害のある方に対して、機能維持向上、社会生活力向上、復職や新規就労に向けたリハビリテーションを実施しています。一人ひとりそれぞれのニーズに合わせたプログラムを提供しています。

○サービス内容、対象者、利用料金

障害福祉サービス種別でいう『自立訓練』『就労移行支援』『生活介護』等を実施しています。対象者は、

- ·満15歳以上65歳未満の方
- ·身体障害者手帳をお持ちの方、高次脳機能障害の診断を受けた方、難病の方

です。『自立訓練』『就労移行支援』は介護保険の第2号被保険者の方も利用可能です。入所と通所があり、定員は60名（うち入所は40名）です。平均利用期間は約1年です。

利用相談で圧倒的に多いのが病院（MSW）からです。利用者の疾患は脳血管障害が最も多く、交通事故等の外傷性脳損傷、脊髄損傷、の方などが利用されています。利用料金は入所の方で1ヶ月に0円～約8万円（食費·光熱水費込）です。

○訓練（リハビリ）内容、退所後に向けて

·「PT、OT、ST、心理」の他、スケジュール管理、服薬管理訓練、外出訓練、自動車訓練、グループワーク、創作訓練、スポーツ訓練、情報処理訓練（パソコン）、作業訓練（軽作業、事務系）などを実施しています。退所後に向けてサービス間の調整、年金や制度の手続き支援、復職等に向けた会社との面談なども実施しています。

＊施設利用の詳細はお気軽にお問い合わせください。

（裏面につづく）

〈高次脳機能障害支援コーディネーター業務〉

当センターは県から委託を受け「高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業」を実施、県の高次脳機能障害支援拠点機関を担い、拠点機関には支援コーディネーターが配置されています。事業内容は、相談支援、支援機関に対する研修、普及啓発などです。支援コーディネーターの役割は、方向性のマネジメントや包括的支援への対応等であり、当センター利用有無に関わらず相談を受け対応しています。例えば

- 現在入院中です。今後どうしたらよいか。
- 本人に障害認識がない。対応方法を教えてほしい。復職後にうまくいかない。
- 障害年金や手帳の取り方を教えてほしい。
- 患者が県外出身（または県外からの問い合わせもあり）、どこにつないだらよいか。
- 高次脳機能障害かもしれない。どうしたらよいか。

などです。昨今は地域研修や検討会議、なども開催しています。医療機関にも出向きますのでお気軽にご相談ください。

〈最後に〉

高次脳機能障害の方への支援は医療、福祉、教育、司法、行政、など多岐に渡り、制度についても労災、自動車保険、障害年金、障害者雇用など幅広く知る必要があります。ある日突然、事故や病気などで生活が一変し、本人や家族の不安や衝撃ははかりしれません。障害認識がうまくできないという障害特性に悩まされる支援者も多くいます。ソーシャルアクション、アセスメント力、マネジメント力の重要さを実感しています。あくまでも本人主体で本人が最善の支援を受けられるようソーシャルワーカーとして日々精進したいと考えています。

（文：MSW、高次脳機能障害支援コーディネーター 森由美）

社会福祉法人三重県厚生事業団

三重県身体障害者総合福祉センター

所在地：〒514-0113
津市一身田大古曽 670 番地 2
電　話：059-231-0155（代）

地域紹介

真宗高田派本山 専修寺 せんじゅじ

住所：〒514-0114 津市一身田町2819番地　☎059-232-4171

宗祖親鸞聖人により開山された寺院です。通称、高田本山と親しみを込めて呼ばれています。平成29年11月28日、県内で初めて国宝建造物に指定されました。

一身田町には寺内町の歴史的な町並みが今も多く残っています。ぜひお立ち寄りください。

▶▶▶次回は、介護老人保健施設第2おかなみからの報告を予定しています。お楽しみに。

今後の研修案内

7月8日（日）
＊基幹研修Ⅰ
- 開講式・オリエンテーション
- 医療における厚生労働行政の動向
- 事例検討
- 医療における「家族」の理解

7月29日（日）
＊スーパービジョン研修

9月2日（日）
＊スキルアップセミナー①
回復期・地域包括ケア病棟
ソーシャルワーク実践研修
「リハビリを必要とする患者支援のためのMSWに必要な知識・技術を学ぶ」（仮）

9月30日（日）
＊リーダー向け研修
「ソーシャルワーカーの成長過程を考える」（仮）

詳細は協会から届くご案内を参照してください。
ふるってご参加ください。お待ちしております。

編集後記

同僚の言葉。『MSWの仕事は孤独な事も多いけど、大変さを共有できる仲間と嫌な事も笑いに変えて一日が終えられたら、まあええやん。結果オーライ！』ほんとにそう思います。仲間の笑顔や優しさに何度救われたことか。

皆さん、行き詰まったりしてはいませんか。貴方の周りにもきっと笑顔で救ってくれる仲間がいます。もちろん私たち三重県協会の会員も仲間です。笑顔を糧に今を踏ん張りましょう。毎日の結果オーライのために。それが必ず未来の自分に繋がると信じて。

担当：兵倉・小坂・松田